

令和 7 年度施政方針

令和 7 年 第 1 回定例会

令和 7 年 3 月 5 日

小 海 町 長 黒 澤 弘

施 政 方 針

本日ここに、令和7年第1回小海町議会定例会を招集申し上げましたところ、議員の皆様には大変ご多忙の中、全員のご参会をいただき開会できますことを、心から厚く御礼申し上げます。

今年は昨年に比べ寒さが厳しく2月の中旬には日本海側では広い地域で大雪となり、交通事故の増加や公共交通の混乱のニュースが放映されておりました。当町周辺においては、2月はまとまった降雪も無く除雪作業の負担は少なかった訳ですが、3月に入り腰を痛めるような春の雪に見舞われてしまいました。

松原湖でのワカサギ釣りにつきましては、氷上では3月2日で終了となり、栈橋にて行っております。昨年度よりも大勢の方々においでいただいたとのことです。

また、私事で大変恐縮ですが、今年は町長として二期目の最終年であり、集大成の年であります。町民の皆様と共に更なる町の発展を目指して一生懸命邁進する覚悟でございます。飛躍の年となるよう、公平・公正・適正を基本とし力強く精力的に行政を進めてまいる所存でございますので、議員の皆様におかれましては、ご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

令和7年度の町政を執行するにあたり所信の一端を申し上げます。

近年の物価高騰に関しましては、燃料・輸入穀物のほか物流費や人件費等の上昇が要因となり食品類についても価格が上昇しており、消費拡大の動向は今後も見通せない状況です。国・県の動向を見つつ町の事業を進めてまいります。

令和7年度事業の柱の一つに児童館の建設があります。現在、午前中は乳幼児を対象とした子育て支援センター、午後は主に小中学生を対象とした児童館として運営をしておりますが、この増築事業により、子どもたちが安全に、のびのびと活動できる場所が確保できるものと考えております。

学校教育におきましては、障がいを抱えた皆さん、不登校の児童生徒に行政としてしっかり寄り添える組織の構築を、こども課の設置や子ども家庭センターの検討など職員体制を含め行ってまいります。そして、今以上に保育園・小学校・中学校と保健福祉分野が連携し、子どもたちの将来にわたる礎の形成に注力してまいります。

令和2年から取り組んでおりますワイン用ブドウの栽培につきましては、地域おこし協力隊である「ノーマンズ」の圃場から昨秋に約200kgの収穫ができ、現在熟成させている最中です。秋頃には小海町産ワインの発表ができると見込んでおりますので、楽しみにしていただきたいと思います。

小海駅舎とアルルにつきましては、キッズ世代から中高生の利用促進を検討し、昨年度から継続しているエキウエ自習室の運営や、アルル内でJR小海線関連の展示など実施してまいりました。今後の活動としてプログラミング教室や、e-スポーツなどこれからの時代にふさわしく、人が集い交流できるイベントなどを開催してまいりますのでご意見をお寄せいただければ幸いです。

企業版ふるさと納税制度を活用し、昨年8月と先月2月にオペラコンサートを開催しております。先日2月の総合センター公演では、新しい楽曲が披露され本年11月の本公演に向けて着々と準備が進んでおります。

福祉関係につきましては、「障がい者等の住まい」の建設に向け、障がい者に限らず高齢者など幅広い皆さんが利用できる複合的な施設整備を、「誰もが安心して住みやすいまちづくり」の一環と捉え進めて参ります。

松原湖高原スケートセンターにつきましては、2月8日にセンター杯スケート大会が開催され、今シーズンの営業を終えました。茅野市や岡谷市でのスケートセンター存続が危ぶまれる中ではありますが、当町では運営方法を工夫し、経費節減を図りながら伝統あるスピードスケートの振興を継続して行ってまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

交通体系につきましては、抜本的見直しを行っております。昼間の路線バスの代替として一昨年11月から親沢線が試験運行を経てタクシー利用助成方式に移行し、昨年10月からは溝の原線と小海原線の試験運行をしております。バス利用者が限られていることなどから目立った混乱も無く、むしろドア・ツー・ドアにより利用者からは良い評価をいただいております。今後も利用者等の要望や改善点を集約しながら進めてまいります。

令和7年度は、第6期長期振興計画後期計画の初年度であります。計画した各事業に取り組み、飛躍の年となりますよう、「挑戦」「新鮮」「実行」を礎に元気な町づくりを進めてまいります。

こうした中、編成した令和7年度の予算規模は

一般会計	4, 9 1 9, 0 0 0 千円
国民健康保険事業特別会計	5 1 9, 5 3 5 千円
介護保険事業特別会計	7 2 7, 1 8 5 千円

後期高齢者医療特別会計

94,154千円

簡易水道事業会計（収益的収入合計） 95,550千円 で

総額 6,355,424 千円、前年比 510,264 千円、8.7%の増額となりました。

次に会計ごとに概要を申し上げます。

○一般会計

・歳入につきましては、町税は前年の実績を考慮し、前年比 30,180 千円増の 590,149 千円を計上しました。地方譲与税は前年比 7,000 千円増の 87,000 千円、地方消費税交付金は前年比 15,000 千円増の 115,000 千円、地方交付税につきましても、前年比 92,400 千円増の 2,015,500 千円を計上しました。これらは前年度実績等をもとに計上したものでございます。

国庫支出金は、前年度比 149,874 千円増の 406,205 千円を見込みました。主な内訳は、民生費国庫負担金の自立支援給付費負担金、総務費補助金のデジタル基盤改革支援補助などの補助金の増額、民生費補助金では児童館増築による交付金の増などによります。

県支出金は、前年比 63,947 千円増の 222,490 千円を見込んでおります。主な内容は、民生費負担金の障がい者の自立支援給付などの増のほか、児童館増築による交付金の増です。

繰入金は、前年比 68,243 千円増の 399,581 千円を計上しました。減債基金から 145,877 千円、財政調整基金から 229,900 千円の繰入をしております。

町債は、前年対比 50,400 千円増の 545,400 千円を計上しました。過疎対策事業債において、児童館増築、橋梁修繕ほか 315,100 千円、緊急防災減災事業債におきましては、防災行政無線の更新関係ほかで 169,300

千円、また、緊急自然災害防止対策事業債においては、道路改良舗装関係 61,000 千円を計上しています。

・歳出につきましては

1 款 議会費の総額は 73,115 千円を計上し、前年比 10.5%の増となりました。議員の皆様の報酬、事務局人件費、議会だよりなど議会活動に要する経費のほか、昨年度整備した議場の映像配信設備・会議システム関連費用を計上してございます。

2 款 総務費の総額は 958,354 千円を計上し、前年比 3.8%の増となりました。

一般管理費では、基幹系システム標準化の関係では令和 6 年度からの債務負担行為 60,693 千円を計上し、広報費では昨年に引き続き防災行政無線の更新 140,000 千円、企画費では小海駅周辺活性化事業 23,350 千円に、障がい者等の住まいの整備関係費用を含め実施してまいります。また積立金は前年比 16,129 千円の増額で、昨年度から森林環境譲与税の徴収が開始されたことにより基金 25,000 千円、中部横断自動車道整備関連基金として 10,000 千円計上しました。戸籍住民登録費においては、債務負担行為の 26,224 千円を含む戸籍システムの標準化、ふりがな付け費用として 29,360 千円計上しましたが、住民票、印鑑証明書などのコンビニ交付事業が昨年度終了となったことで 23,602 千円減の 74,140 千円を計上しております。選挙費では、議会議員選挙・町長選挙・参議院議員通常選挙等の関係費用として 14,951 千円増の 16,467 千円を計上しています。

3 款 民生費の総額は、1,312,146 千円を計上し、前年比 39.8%の増となりました。

心身障害者福祉費においては、自立支援給付費等の増額により前年比 24,929 千円増となっております。また、児童福祉費では児童館の増築工事に設計費用を含め 298,700 千円を計上し、安心・安全な環境を提供し、子どもたちの健やかな成長を支える場所を提供してまいります。

4 款 衛生費の総額は、380,267 千円を計上し、前年比 0.2%増で前年並みとなりました。

予防費では、新規事業としまして骨髓バンクドナー助成費用を計上、また、带状疱疹の予防接種が定期接種化され、65 歳以上の方から 5 歳刻みで 100 歳までが対象者となり 3,200 千円計上しました。

5 款 農林水産費の総額は、198,493 千円を計上し、前年に比べ 9.7%の減となりました。

農業費では、農業委員さんの任期が年度末までとなり、改選費用を計上しています。ワイン用ブドウ栽培につきましては、協力隊の 2 名が任期満了となることから、これまで営農していた圃場において継続して取り組めるよう栽培委託をしてまいります。収穫するブドウについては購入していただき、加工やワイン販売についてはノーマンズが行っていくという方式です。また県営事業で行っております小海原の畑灌整備事業につきましては、松原湖駅付近の管路整備と小海原圃場内の排水路工事を行い負担金を計上しております。林業費は、前年比 31,863 千円減であります。林道八ヶ岳線の改良工事費が終了となったことが要因です。

6 款 商工費の総額は、435,592 千円を計上し、前年比 7.6%の増となりました。

商品券の発行につきましては、20%のプレミアム付き P-ねっと券 150,000 千円の販売に対する補助を実施してまいります。事務費を合わせ 31,800 千円計上しました。松原湖観光交流センター運営費の八峰の湯ではありますが、本年度セルフオーダーシステムを導入し、お客様のサービス向上を目指してまいります。設備リース料として 4,075 千円を計上しました。町民の皆様の健康増進施設、松原湖高原の観光拠点施設として、多くの皆様に利用され、愛される施設づくりを目指してまいります。

7 款 土木費の総額は、366,870 千円を計上し、前年比 9.3%の増となりました。

5 年に 1 度の全橋梁・トンネル点検を実施するとともに、橋梁の修繕、道路改良工事、町道維持補修事業など進めてまいります。

8 款 消防費の総額は、208,046 千円を計上し、前年比 10.6%の増となりました。

防火水槽設置工事 9,000 千円、長野県防災行政無線の更新による負担金 19,196 千円を計上しました。

9 款 教育費の総額は、513,099 千円を計上し、前年比 4.8%の増となりました。

小学校関係では、ランチルームの放送機器の更新、給食室排水管修繕工事費など 5,640 千円計上し、社会教育費において、小海原地区・東馬流地区公民館の改修費補助金 5,956 千円、美術館の浄化槽修繕工事 30,250 千円を計上しております。保健体育費では、松原総合グラウンドの整備

工事、スケートセンターの改修工事など実施してまいります。

10 款 災害復旧費の総額は、前年度と同額の 9,000 千円を計上しました。台風や豪雨災害による土砂の片づけなど応急工事に対応してまいります。

11 款 公債費の総額は 459,018 千円を計上し、前年比 1.4%の減となりました。

○国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計予算の総額は 519,535 千円を計上し、前年に比べ 0.5%の増で、ほぼ前年度並みとなりました。国民健康保険事業の運営につきましては、より一層の財政の健全化を図りながら、制度の安定的、持続的な運営と被保険者の負担の公平性確保に努めてまいります。

○介護保険事業特別会計

介護保険事業特別会計予算の総額は、727,185 千円を計上し、前年に比べ 1.5%の増となりました。第 9 期の介護保険事業計画 2 年目となります。また、引き続き介護予防の強化するため、予防教室の実施、地域支援事業にも力を入れ、利用者本位の運営に努めてまいります。

○後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計予算の総額は、94,154 千円を計上し、前年度に比べ 4.3%の増となりました。主たる要因は、広域連合への保険料納付金の増額によるものです。広域連合との連携を図り、安定した制度運営に努

めてまいります。

○簡易水道事業会計

簡易水道事業会計予算の収益的収入総額は、95,550 千円を計上し、前年に比べ 0.7%の減でほぼ前年度並みとなりました。令和 5 年度から簡易水道としての運営が始まり、補助金、企業債の借入れなど財源を確保しながら、資本的収入及び支出の建設改良費において、配水管布設替え工事を比較的大規模に実施し、長期計画に沿った整備を進めてまいります。

以上、私の所信の一端と各会計の予算について概要を申し上げました。町民の皆様が何を求めておられるのかを的確に判断し、スピード感をもって様々な施策を講じてまいりたいと考えております。「元気な小海町」をつくるため、引き続き積極的に行政を推進してまいる所存でございます。議員の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます、施政方針といたします。